

東京湾再生官民連携フォーラム 令和2年度 第2回企画運営委員会

1. 開催日時 令和3年3月26日（金） 10:00～12:00
2. 開催場所 リモート形式（Zoom 利用）と対面形式との併用による委員会開催
対面形式の会議場・みなと総研3F 会議室
（バックアップ・事務局 Zoom 運営）

3. 議事次第

《審議事項》

- （1）フォーラム令和3年度事業計画（案）、予算（案）について
- （2）令和3年度フォーラム総会開催について

《報告事項》

- （4）*フォーラム令和2年度事業報告（案）について
- （5）中間評価について（フォーラム事業報告説明に含む）
- （6）東京湾大感謝祭2021 開催宣言文 紹介
- （7）令和2年度PT活動報告、令和3年度PT活動計画（各PT長）
- （8）CSR-NPO未来交流会2021について
- （9）読み聞かせ動画「みんなの東京湾みんなで再生-10月1日・東京湾の日」について
- （10）その他

※報告事項は（4）からスタートです。

4. 出席者（敬称略）

來生議長、中村委員、古川委員、岡本委員、岡田委員、細川委員、松井委員、斉藤委員、木村委員、田久保委員、竹口委員、田中代理、森委員、白崎委員、渡邊代理、行木委員、小林代理、西川代理、小泉代理、樋口委員、仲澤代理、佐藤代理、秀平代理、石井委員、今野委員、木下委員、壺内代理、夏目委員、細川(事務局)29名出席

5. 議事メモ

5-1 開会

(1) 事務局確認事項

出欠確認(欠席:佐々木委員、牧野委員、神奈川県・工藤委員、さいたま市・市川委員)

リモート形式(Zoom 利用)と対面形式との併用ハイブリッド会議

(2) 開会挨拶(議長)

今年はコロナ対応で、会議形式も変わり、まさに時代を象徴するような会議と感じています。忌憚のない意見交換をお願いします。

議事に入ります。審議事項1を事務局から説明してください。

5-2 議事

《審議事項》

(1)フォーラム令和3年度事業計画(案)、予算(案)について

【決定事項】

フォーラム令和3年度事業計画(案)、予算(案)は、提案のとおり承認されました。

(事務局説明)

審議資料1説明

令和3年度事業は、フォーラム設立後9年目の事業になります。今回のご提案事業計画は、3回目の中期3年計画の3年目にあたります。前々回の委員会で、「東京湾の日」を設けて再生活動を統合する象徴活動として、集中的な取り組みをめざしましょう、という方針を決めていただきました。R3年度はその目標に近づけるようにしていきます。これが、大きな活動方針になります。

1. 情報(提供・仲介)の受発信・交流(広報)については、「東京湾の日を10月1日」に定めて、10月から11月にかけて、意識して広報PR活動の充実を図ります。

HPの充実やメール配信を進めていきます。さらにオンライン東京湾大感謝祭2021、東京湾の窓PT実施の「ぐるっと東京湾！自然と魅力のワクワク情報」との協力連携を図っていきます。

発信交流の中で、個人、団体会員を着実に増やしていきます。中でも、みんなが集まらなくても、単独の個人が寄与できるなどの手段を情報収集し紹介していきます。例えば、「ブルーカーボンプレジットの個人購入制度など」の情報をフォーラム会員の関心に繋げていきます。

コロナ禍により、多くの人が集まりにくい、小さな活動を繋げていくことを交流の中で検討していきます。先進的なセブン-イレブン記念財団さんの活動を勉強させていただきます。

フォーラム組織の継続強化に努めていきます。第三期の「東京湾再生のための行動計画」は、官側でご準備されると思いますが、それに対する寄与、フォーラム内部で意識しながら議論を喚起する役割を果たしていきます。

本日は、Zoomを活用した会議を実施しています。新しい会議の仕方に慣れていき必要な資材、機材の準備をこころがけます。

2. 交流連携事業、組織の外部との連携交流については、市民が取り組みやすい海ゴミの清掃活動を広げていきます。一つは「東京湾の日」に集中するようなPR活動、二つ目はすそ野を広げる活動、身近に感じてもらう活動を実施していきます。川柳、写真、動画などの公募をおこない、小さな表彰の仕組みを考えしていきます。表彰のグッズの配布等も検討していきます。さらに、河川を中心に活動されている方々と連携をはかり、東京湾の日と合わせて清掃活動に取り組みます。

東京湾の活動を市民目線からの表彰ができないかと考えています。東京湾の日の浸透を図るためポスター、動画を作成しPRしていきます。東京湾メンバーズカードの、配布を行います。会員の拡大につなげていきます。

CSR-NPO 未来交流会を実施していきます。今年度コロナ禍において、少し広い視野での議論を行い、必要なヒントもいただきました。引き続き、一般財団法人セブン-イレブン記念財団さま、経団連自然協議会さまの大きな組織の活動を勉強させていただき、企業とNPOの交流を図ります。

国連生物多様性10年日本委員会、経団連自然保護協議会などへの参加協力を引き続き行い、様々な

団体との連携を図ります。また、承認を得られましたら、あらたに「環境省ローカル SDGs(地域循環共生圏)実践地域等登録」を行い、東京湾への貢献を図る予定です。さらに(環境省)「プラスチック・スマート」キャンペーンの参加協力を継続実施していきます。

3. PT 活動につきましては、PT の縁の下の力持ちとして事務局支援をはかっていきます。東京湾大感謝祭のサポート、「指標活用 PT」のアンケート収集サポート、「東京湾の窓 PT」が行うアウトリーチ活動へのサポートなどを行います。また、PT 活動において、共通に悩みとなる「ウェブ活用等の共通課題」についてサポートしていきます。「著作権、個人情報保護」等についてもサポートしていきます。

4. コンサルティングについては、現場活動時に必要な官への共通の「届け出書式」や「ひな形」の提供をし、申請手続きについて窓口となり応援していきます。啓発人材育成は、支援助成の情報提供や申請の応援をとおして、PT の申請能力を高めるといった点からサポートしていきます。

5. 政策提案ですが、事務局としては「中身の充実」や「政策提案作成」に結び付く前、後のサポートを検討していきます。

以上のことを年間スケジュールにしてあります。

次に、その活動を支える予算案を記載しています。セブン-イレブン助成金が大きな収入となります。予算、支出の部は、セブン-イレブン記念財団のルールに沿って整理・計上しています。昨年実績をもとに組み立てて、事務局の運営費、事業費に分け支出計上しています。運営費には人件費、Zoom 等の費用や会議費などです。事業費としては CSR-NPO 未来交流会の費用、会場費用などを計上しています。事務局経費が約¥3,000,000-、事業費が約¥1,000,000-として、令和3年度の事業を実施していきます。

以上が審議事項1の説明となります。

【審議経過】

來生議長

事業計画と予算案となりますが、ご質問のある方はお願いします。

環境省「ローカル SDGsへの登録参加」についてもご意見があればお願いします。

松井委員 (セブン-イレブン記念財団)

ローカル SDGs は、環境省が第5次環境基本計画で決議された内容で、民間で初の協力協定を結んでいます。セブン-イレブン記念財団の自主事業24カ所をローカル SDGsの登録カ所とし、具体的な成功事例を環境省が情報発信して行こうとするものです。登録にあたり何らかの協力等ができます。

田久保委員

「東京湾の日」についてですが、朝、車のエンジンをかけると搭載ナビから「〇〇の日」の案内が都度あります。「東京湾の日」もこういうのに取り上げてもらえるものなのか。

事務局

登録につなげるようなことが可能であれば検討していきたい。そのためには、一定程度の社会的認知もあると拾い上げてもらいやすくなると思います。ある特定のメディアに登録する方法等を検討してみます。

田久保委員

365日の、〇〇の日は、あるので、ETCカードでの発表は良いので、事務局でも調べていただきたい。

事務局

調べて研究してみます。

古川委員

広報のところ、「東京湾再生のための～第三期に向けての取り組みについて」の部分ですが、大きな目標ですので、さまざまな機会を活用して議論の活性化、多様化に尽力していただきたい。モニタリング PT としても協力をしていきたい。

他団体との連携で、先ほどの「環境省ローカル SDGs」があり、「グリーンインフラ官民連携プラットフォーム」「海洋科学の 10 年」の取り組みが始まって連携が模索されていますので、幅広くいろいろなところと連携しながらフォーラムが推進することを期待しています。

東京湾再生推進会議、湾岸自治体、9 都県市等協力していただいている「東京湾環境一斉調査」の中で、各市民団体などが個別に調査許可を取るのは大変に難しい。生物調査を行うときに、フォーラムが申請から許可まで支援していただいた。この機会を通して改めてのお礼をしたい。この種の支援の重要性の認識をいただければと思います。

來生議長

コメントということで承りました。

事務局

大変有益重要なコメントありがとうございます。「第三期に向けての議論を深化させましょう」という点は、ことあるごとに議論の場を作っていきたいと思います。

行木委員（環境省）

環境省「ローカル SDGs」への登録参加の議論についてですが、環境省として地域循環は大変重要と考えています。

参加について一言御礼申します。また、スマートキャンペーンの継続などさまざまな取組で連携し、進めていければと思います。

森委員（海上保安庁）

第三期行動計画の検討に着手しました。東京湾再生官民連携フォーラムの引き続きのご協力、お願いします。

來生議長

R3 年度事業計画に関しては承認とします。予算に関してのご意見はありますか

松井委員（セブン-イレブン記念財団）

組織会員、個人会員は、ネットワーク、賛同者を増やしていくことだと思いますが、組織の財務基盤強化として寄付とともに、会員からの会費徴収ということは検討できないでしょうか

事務局

設立時の議論から、会費を取らないということでフォーラムが出発した経緯があります。幅広く参加していただくということです。設立の趣旨との議論整理が必要と思います。大変重要な提案と受け止め検討していき

ます。場合により事務局内に検討組織を設けたいと思います。

來生議長

現在の仕組みは会費をとらないで運用されているので、時間経過とともに仕組みを検討していく必要があります。

ご質問他にありますか。なければ、ご承認ということで進めさせていただきます。

《審議事項》

(2) 令和3年度フォーラム総会開催について

【決定事項】

令和3年度フォーラム総会開催日時は、提案のとおり承認された。

(事務局説明)

審議資料2説明

令和3年度総会、開催日時のご提案となります。一人でも多くの会員のご出席を促すということで、東京湾大感謝祭の開催と合わせていきます。オンラインの総会、対面での総会を両方睨みながらの準備状況です。本日は日時を決める審議をお願いします。

來生議長

コロナ禍の対応もあり両面で検討していくということで、特に問題ありますか。質問はありますか。

質問はないようです。日時について承認をいただきました。先に進めます。

《報告事項》

(7) 令和2年度PT活動報告、令和3年度PT活動計画（各PT長）

大感謝祭PT

【報告】(木村PT長)

資料7-1説明

大感謝祭ですがオンラインで話が進んでいますが、資金面で実開催も検討したいと思っています。その場合でも一カ所でまたは分散開催も考えています。大感謝祭は多くの人たちに東京湾の恵みを伝えていきたいとスタートしました。その目的は、いくらかは果たせていると思っています。広報の共通の場を作り官民が有機的に幅広く繋がっていきました。関心のない人の参加を増やしていく面では、実開催、さらに伝え方を工夫する必要があると感じています。第三期に向けてよりこれを発展していければと考えています。

モニタリングPT

【報告】(古川PT長)

資料7-2説明

3月26日、14:00公開となるプレス発表の資料を本日配布しています。「東京湾一斉調査」としては、今年度の水質調査は8月5日(水)に実施され、162機関、約1,000地点で調査ができたということで感謝しております。今年は、生物調査、イベントの実施は、一斉調査としてはあつかいませんが、報告書には掲

載することになりました。報告書では10件の掲載です。調査後、ワークショップをオンラインで実施し、「東京湾環境マップ」が完成しました。4月に入り皆様に配布いたします。令和3年度も「東京湾一斉調査」を核として、活動継続していきます。指標PTのイベント調査などの実施への協力、国際共同研究 東京湾の評価も始めており、モニタリングの中でできることを実施していきます。

生き物生息場づくり PT

【報告】(岡田副PT長 代理)

資料7-3 説明

令和2年度は政策提案「東京湾北部沿岸におけるマコガレイ産卵場の底質改善」の社会実装の題目で動画コンテンツを作成し、東京湾大感謝祭における動画による展示コンテンツの一つとして公開しました。

11月20日には今年度初となるPT幹事会をハイブリッドで開催しました。

12月22日には昨年度までと同様にマコガレイ産卵調査を行いました。

3月27日、釣り舟によるマコガレイの釣り調査の実施を行います。約10名～12名ほどの参加予定です。

令和3年度活動計画は、東京湾大感謝祭企画、東京湾再生の理念(再生目標生物)に関するWG活動、政策提案「マコガレイ産卵場の底質改善」の社会実装に関わるフォローアップを引き続き行っています。また、社会実装に向けたアイデアの選択肢を提示することは重要と認識し、想定される土砂等の資源とその活用の可能性や課題について検討を行っていく予定です。

指標活用 PT

【報告】(岡田PT長)

資料7-4 説明

二つのグループに分かれて活動しています。指標データワーキンググループは、官が収集しにくい市民データを集める活動を行っています。

令和2年度は、データ収集、東京湾大感謝祭に合わせて、その結果を紹介する動画を作成し公開しました。結果をポスターにして、毎年フォーラムホームページに公開しています。

令和3年度も同様にデータ収集して活動していきます。

二つ目のデータ整理・評価WGは、今年度は中間評価報告を取りまとめ冊子として公開しています。

データ評価の検討をPT内で行い、今までのデータをち密に解析し、客観評価して、東京湾再生推進会議が出す結果として、恥ずかしくないものにしようと思いました。次は最終評価になるので、またデータを取りまとめて整理実施していきます。

江戸前ブランド育成 PT 長

【報告】(事務局 代理)

資料7-5 説明

令和2年度の活動は、「まずは東京湾の海の幸のことを知っていただき、食べていただく」こと、体験してもらうこと、エコでおいしい 江戸前、というブランド性を高めて行く活動のPRを行いました。

江戸前育成PTは、水産関係の集約点になり、オンラインでの活動料理教室の開催、江戸前理解の普及と深化といった成果がありました。令和3年度は、江戸前ブランドの活動資産を活かして、料理教室等の

アンケートを行い、政策提案等に活用していきます。さらに、千葉県漁連をはじめ湾岸漁師の横の繋がりを応援していきます。

東京湾パブリック・アクセス方策検討PT

【報告】(竹口 PT 長)

次回に資料を用意します。

東京湾での海水浴復活の方策検討PT

【報告】(田中 代理)

資料 7-6 説明

今年度の活動報告で、葛西海浜公園の海水浴については、7 月までに実施、コロナの影響を受けて、海水浴はできませんでしたが、海水浴と同様の水遊びを実施しました。結果として、7 万人の実績に結び付きました。

お台場の海水浴 については、オリンピックで使用予定のため当初から実施予定はありませんでした。来年度(令和3年度)の活動計画は、より多くの場所で海水浴が復活するようサポートしていきます。城南島海浜公園については、リニューアルの検討が始まっていることから、公園を所管する東京都港湾局に海水浴の実施について働きかけており、来年度も引き続き働きかけを続けます。大森ふるさとの浜辺公園 については、大田区が、海水浴の実施について、東京都に話を聞きに来ているようなので、その動向に注目しつつ、海水浴の復活に向けてサポートします。委員や会員の方々で大田区さん等とのコンタクトがありましたら、海水浴 PT の活動をご紹介していただきたいと思います。

東京湾の窓 PT

【報告】(事務局 代理)

資料 7-7 説明

今年度の活動報告は、「令和2年度 未来のみなとづくり助成(港・海辺活動/調査研究助成)」を獲得し、Facebook グループページ「ぐるっと東京湾！自然と魅力のワクワク情報」を発足させて10月より公開しています。また、Facebook グループページ宣伝用シール3種を制作し、配布を行っています。

CSR-NPO 未来交流会 2021 では、メンバーの小山さんが、Facebook グループページについて発表、小澤さんがふなばし三番瀬海浜公園の取り組みについて、それぞれ活動事例の紹介を行いました。

令和3年度の活動計画は、Facebook グループページの運営を継続していくことと、施設関係者向けの研修(オンラインを含む)の実施を検討しています。

浅瀬再生実験 PT

次回に紹介したいと思います。

(8) CSR-NPO未来交流会 2021 について

事務局報告

資料 8 説明

令和2年3月3日に、CSR-NPO 未来交流は開催し、29 団体、55 名の参加をいただきました。テーマは、「コロナ禍のNPO と企業の組織連携 生活スタイル様式の変化、行動変容から環境活動のヒントを探る」です。大きなタイトルですが、情報ツール(Zoom など)を使つての NPO 活動をどのように実施していく

か等の意見交換を行いました。

プログラム内容では、ふなばし三番瀬学習館の小澤さんは、魅力的で面白く仕立てたプレゼンで、NPOにとりヒントになる学習の事例紹介、浅岡先生からは情報化に振り回されないようにするには、どうしたらよいかの視点をいただきました。白井さまからは、中央の省庁から見ても、官と民の交流連携は進んでいるし、自然を体験することは、この時代だからこそ貴重であるという視点を提供していただきました。交流会後の参加者アンケートによると、コロナのこともありますが、講演を通して大きなヒントをもらえたなどの回答をいただきました。

(9) 読み聞かせ動画「みんなの東京湾みんなで再生-10月1日・東京湾の日」について

事務局報告

資料9説明

市民へのアプローチとして、本格的な動画を作成し、HP掲載用の動画ですが、アトラティブで、小学生にも見てもらえることを目指しています。できましたら、みなさまに見ていただきたいと思います。

來生議長

全体を通して、何かご質問ありますか。

ないようですので、これでひと通り終わりました。

5-3 閉会

來生議長が閉会を宣言

以上